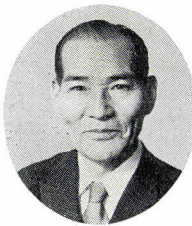




あけましておめでとうござい
す。昭和五十二年の新春を迎える
にあたり、皆様のご健康とご繁栄
を心からお祈り申し上げます。
年のはじめは、町民のみなさん
それぞれ新たな目標に向って決意
されると思います
が、私もまた心を
新たにし、高森町
のため全力を傾
け、一層頑張ら
れたいと思います。



新年のご挨拶

高森町長 岩下 八束

願ひますと、高森町は旧野尻
村の編入合併以来、本年をもって
二十周年を迎えることになったわ
けですが、全町民の愛郷精神がき
わめて旺盛で、町政運営が円滑だ
った結果であります。

しかしながら、町民の福祉を増
進し、町民生活の安定を図るに
は、今後幾多の重要問題が山積し
ています。その解決を図ること
は、直接町政を担当する私たちに
課せられた責務であり、国および

完成し、高森町もいよいよ観光的
に脚光を浴びてまいりました。こ
のほか町行政面につきましても、
町・農道をはじめ、町民福祉をめ
ざした町民センター、保育所、住
宅、水道など諸事業が順調に進捗

に基づき、人間優先、生活優先の
町政を積極的に進めてゆきたいと
思います。これまで取り組んでま
いりました山村振興事業、第二次
林業構造改善事業もいよいよ最終
年度にはいりますが、目下推進中
の団体営草地開発事業(高原開発)

明けておめでとうございま
す。皆様には昭和五十二年の新春
をめでたくお迎えのことと心から
お慶び申し上げます。
願ひますと、昨年は町内外と
もに多事多難な年
でありましたが、
皆様のおかげによ
りまして、町議
会、町執行部一丸
となり難局を乗り
切ることができましたことを厚く
お礼申し上げます。南阿蘇登山道
路の開通に続き、待望の国民休暇
村施設のオープンは、本町の今後
の観光開発に大きな期待がかけら
れております。また国道バイパス



年頭のご祝詞

高森町議会議長 松田 富男

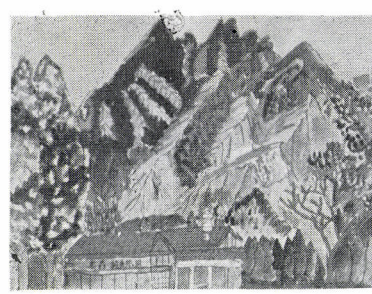
要抑制策につぐ景気浮揚策もなん
ら効果なく、一昨年に続く緊縮財
政は、いよいよ厳しさを加えてま
いりました。今年の町財政も同様
に厳しい試験が予測されますし、

国鉄工事による自然湧水の枯渇問
題や農家の皆様に必要な不安を与
えております。冷害による米作の減
収など、憂うべき問題が発生しま
したことは、まことに遺憾にたえ
ません。
国の経済政策においても、総需

私は、いっそう皆様の要望に
応えるべく頑張らねばならないと
覚悟を新たにいたしております。
しかも、じっくり取組まねばなら
ない幾多の問題に直面しているこ
ともご承知のとおりであります。

地域性を生かした米作、畜産、
そ業、たばこなどの農政をはじめ
商工業の振興、休暇村、南阿蘇登
山道による観光開発、さらには水
資源の恒久的解決、国鉄工事の早
期再開、学校改築統合、町道整備
など皆様の要望を解決しなければ
ならない問題が山積しております。

みんなの広場



「根子岳」
上色見小 5年 古沢 みか

悲しいことすばらしいこと

津留 馬原 範三 (73)

一、この世の中で一番悲しいこ
とは、うそをつくことである。
二、この世の中で一番すばらし
いことは、常に感謝の念を忘れない
ことである。

昭和五十一年は「ロッキード」
といういまわしい疑獄事件に終始
した。うその横行した悲しい年だ
った。しかもその結末は、またも
尻切れトンボで終わろうとしてい
る。天地神明に誓って「うそ」は
申しません。聞いている人はあ然
とした。馬鹿にされたような気が
してならなかった。

電でもしなくてはならない運命を
迎えるだろう。一番恐ろしい、悲
しいこと、うそを平気でつくこと
からお互いに脱して、人間の本来
の姿である美しい世の中の建設に
努力したいものである。

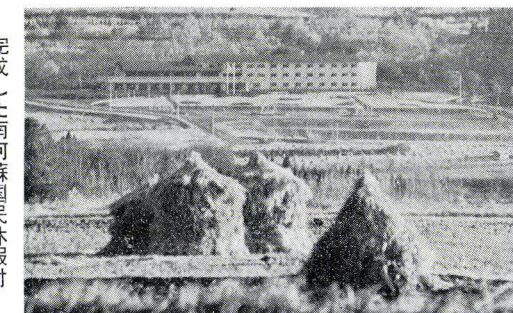
次に感謝の念を常に私たちは抱
いて、毎日の生活ができる人はす
ばらしい。食事の例をとってみる
と、保育園児が食事前に合掌して
「いただきます」といっているあ
の純真な姿を見る。朝の一杯の味
噌汁をいただいているとき、果し
て私たちは感謝の念を頭において
いるかどうか、はずかしい。些細
な事が積み重ねられて、すばらし
い結果が生まれるのだ。

休暇村の完成を喜ぶ

高森横町 森川 末広 (62)

待ちに待った休暇村がついに完
成しました。高原に浮んだ巨大な
白亜の船とでもいえるような、その
威容を誇る建物は、ラクダ山の岩
肌を背に、根子、高岳に相對して
います。宿泊者が朝起きて窓に目
を移したとき、その景色のすばら
しさに、きつと感嘆することです
。喧騒な都会生活者にとって
休暇村の一夜は、「深淵に、びそむ
ような静かな眠りではないでし
ょうか。

北九州市役所に勤務している甥
(おい)から「来春は「わらび狩」
に行きたい」と、問い合わせがあ
ったので、大いに歓迎とそのよさ
を強調しておいた次第です。
ところで、休暇村に連係して高
森平和塔があります。四季の草花
に囲まれてそびえるまっ白な塔。
私は宗教的なものは別として「平
和塔を過ぎれば、すぐに休暇村」
この方が観光的に意義があるよう
に思えます。近くには数ホールの
ゴルフ場も計画されているとか、
観光誘致策としてまことによい思



完成した南阿蘇国民休暇村

「うそ」を言わず、常に報恩感
謝の歩みをつこつと、私たちは
今日から続けたい。

また造林についても針葉樹
林が多く、活葉樹林が減って
います。いまこそ郷土の自然
を見直すときではないでしょ
うか。

草部・社会
甲斐 直三 (35)
△砂利販売業△
交通事故は
自分で守る以
外に道はあり
ません。簡単
な注意と本人
の自覚で防ぐことができま
す。運転者も歩く人も道路交
通法規を守って、無事故の一
年を送ろうではありません
か。

野尻・水上
城井 若生 (26)
△農業△
結成以来八
カ月のローリ
ング・サウン
ズ。野尻地区
六人が編成し
た楽団です。ロック歌謡曲な
どレパートリは十一曲。こと
しは幅広くみなさんに楽しん
でいただくよう猛練習を重ね
たいと思います。

- 色見地区**
- △西中原 橋本野繁保 佐伯美代子 本田喜美枝 佐橋見智美子 佐伯秀康
 - △前原 後藤則和 荒牧美奈子 佐藤富朗 白石みゆき 後藤隆二 後藤福一
 - △中国 住吉正成
 - △西丁 住吉加恵子
 - △山鳥 岩下隆子
- 高森地区**
- △村山 堀田勝代
 - △上在 藤川恵美子
 - △天神 飯干徳光 片山誠逸
 - 野田由紀美 甲斐末則
 - △上町 谷川 哲 中村 修
 - 本田隆信 藤原紀美子
 - △旭通 大野幸一 荒牧 宝
 - 興相しのぶ 鬼塚郁代 興相之寛

- 吉村美智子 岩下順子 森田チズ
ヨ 今村篤子 飯塚伸祐 堀田今朝文
- △昭和 石田宗宏 木實二郎
岩本孝則 藤島ひろ子 小出優美子 竹原秀喜 佐竹智子 田代美紀 藤本登
- △下町 松下茂雄 浪瀬誠治
津留栄樹 堀誠二郎 武田尚樹 佐渡親雄 有働慎 古庄泰則 後藤達也 村谷政男 佐藤幸太郎 佐藤和恵
- △横町 堀田昌敬 村上つよ子
山本八穂子 甲斐敏子 長山恭子 津留美穂 平田光春 佐藤裕子 佐藤幸一 小池隆志
- △冬野 岩下宏士 相馬康広
森田直 谷川洋祐
- △森 阿部恭二 津留浅雄 柴田浩史 川畑安弘 後藤はるみ 徳山幸徳 今村郁子
- △津留 後藤博祐 武田智子

122人がめでたく成人

一月十五日は成人の日。町では二十歳になった人を祝い、励ましたため、当日は午前十時から畜産センターで成人式を行いました。ことしの該当者は昭和三十一年四月二日から三十二年四月一日までの間に生まれた男女で、次の百二十二人（住民票調べ）です。

町教育委員会では、これらの人を式典に招待するため案内状を準備しましたが、もし、名簿洩れやほかに里帰りで参加できない方がおられましたら至急ご連絡ください。

草部地区

- △菅山 甲斐正一
△芹口 甲斐安全

- △草部 甲斐則一 阿南則一
穴見綾子 富永仁美 佐藤美和子
- △永野原 遠坂洋明 工藤鶴雄
阿南ます代 穴見春美 穴見晴喜
西田忠洋 本田都紀代
- △矢津田 本田利直 安藤秀一
池田忠臣 山下章子
- △中 矢津田光也 二子石健一
二子石富貴子

野尻地区

- △津留 熊谷和利 熊谷とも子
甲斐育美 嶋田リリ 甲斐ゆう子
原田教二 赤星るみ子 野尻英夫
栗焼五代子 瀬井とみ子 松本八千子
- △尾下 山田浩司 瀬井二江
首藤光一 甲斐京子 濱原春男
△河原 本田小夜子 後藤君代
後藤満生 白石博昭 白石幸子

各種統計がぎっしり

町勢要覧でできる

町ではこのほど、四年ぶりに町勢要覧をつくりました。大きなB6版の折り込み形式。上質紙に各種統計、図表がぎっしりレイアウトされています。表紙は南外輪山遊歩道の中坂峠付近から根子岳をバックに町の中心地をながめたカラー写真。町の沿革、地勢、観光をはじめ、手ごろな要覧となっています。町では来訪者に無料配布し、町勢の規模を理解してもらうことにしています。

写真：新しく出来た町勢要覧

プッシュ式公衆電話お目見え

高森の中央四ツ角に

プッシュ式の百円公衆電話が十二月八日、南阿蘇地区では初めて、本町の高森中央四ツ角にお目見えしました。形、大きさ、色はこれまでのダイヤル式百円公衆電話と同じ。百円と十円の二種類の硬貨が使用できます。

一般のプッシュホンと同じく、電話計算サービス（三十秒までごとに十円）が利用できるほか、ボタンを三つ押すだけで通じる短縮ダイヤルサービスも可能です。

なお、これとは別に高森峠のトンネル入口にもダイヤル式公衆電話が設置されました。

お知らせ

1月10日から 保育児を募集

町立保育園

ことしの四月に町立の各保育所に入園を希望する園児の募集が一月十日から始まります。

おかあさんが勤めに出る家庭は年々ふえる傾向にあります。そのため、入園については、母が無職の人や、おばあさんが六十歳以下で無職の家は、保育に欠けない家庭として許可されない場合があります。

入園申請書は役場町民課（出張所）にありますので、記入して一月三十一日までに出しましょう。決定通知書は審査のあと、三月中旬におとどけする予定です。

町教委の読書感想文コンクール

みなさんに少しでも本に親しんでいただくため、町教育委員会では次の要領で読書感想文を募集しています。

△内容と題 本の題、内容とも自由。未発表のものに限る。

蚕業講習所の 生徒募集要項

【受験手続】①入学願書および履歴書②最終学校の卒業（見込）証明書、成績証明書（各一通）③身体検査書（公立保健所発行のもの）④写真（無帽上半身セミ判）

【願書受付】本科（高卒）11月

畜産高等研修 所も生徒募集

【募集人員・修業年限】本科生五十名。期間一カ年

【入所資格】高卒以上の学力のある入（三月卒業見込者、男女を含む）で満二十五歳未満の人

【入所手続】研修所所定の入学願書に①履歴書②町長の推薦書③身体検査書④最終学校の学業成績証明書⑤家族および農業経営概況書

【願書受付】一月四日～二月十日

【選考要領】人物試験（面接）、学科試験（作文）、身体検査（書類審査）

街を自然を美しく
吸いがらの投げ捨てはやめましょう。

Smoking Clean



自動車税のご相談は県事務所へ

詳細については阿蘇郡阿蘇町大字西湯浦字端辺一四五四（番八六九一三）熊本県草地畜産高等研究所、または県畜産課にご照会ください。

解体または車検期限が過ぎて六カ月以上経過した車をお持ちの方で、廃車手続きのとれないもの（例えばナンバープレート、車検証が紛失しているためなど）の自動車税についてご相談されたい方は、お気軽に県事務所税務課においでください。

1月17日に 交通事故相談

県の巡回交通事故相談が次のとおり行われます。相談を受けられる方は、交通事故証明書、医師の診断書、その他の関係書類をお持ちになってお出かけください。

△とき 一月十七日（土）

△ところ 県阿蘇事務所

私のひと口賀状



上色見・大村

本田 研一（28）

△中華学院院研究生

四季折々の出来事に、世の移り変わりに「節」の言葉を用いて迎える中国。新たな春よ、新節であつてと願う。

高森・横町

甲斐 幸男（34）

△豊前屋勤務

合併以来二十年を迎えた本町も、この辺で愛町、愛郷心というか

高森町のモラルが生まれてもいいと思います。本町の将来を背負っている一人だと自覚し、ことしも精いっぱい働きたいと願っています。

矢津田・赤羽根

本多 善忠（37）

△草部郵便局勤務

最近、河川が整備されていますが、どこもまっ白なコンクリート

戸細方原から草北へ
社倉から野尻に通じる戸細方原は標高八百四十四、祖母、九重、阿蘇を一望できる高原地帯だ。スキの穂波が冬の陽を受けて銀色に輝き、尾根統きの杉の植林は約四十町歩、場所により樹令三十年生もある町有林である。昔はここの野尻、草部の連合運動会も行われたという。
かつて道標の大恩人、甲斐有雄翁は草部十景と題し、「春雨の降る夜戸細にしめつつも寝てまた夢を結ぶたのしき」と詠じた。高原の一角に蛇塚というところがある。歯痛の神様といわれ、昔、池社の女大蛇と岩上の男大蛇が会う

高森の歴史散歩

教育長 今村俊男

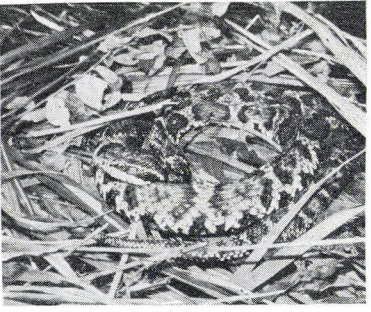
いまに残る教育精神
では「流れの川の下」の意味。中村は草北の中央等々、地形から生まれた地名で興味深い。大昔に赤羽根は土器を作るのに適したところと思われ五霊神社もあるが、付近から土器片も発見される。
草北への道は木立ちで暗い。北部小学校が人里離れた山の上に建っている。昭和四十九年十一月に

瀬を楽しむうち、野焼のために焼死し、その骨をここに埋めたものと古老の話。野尻街道に出て祭場に着く。阿蘇大明神が草部吉見神の娘、阿蘇都媛をめぐられ、天神地祇を祭られたところで、祭場阿蘇神社がある。一名「池社」ともいい、昔は池があったが、道路開通で今は小川になっている。
峯の宿は大明神夫妻が新婚の宿場といわれ神話にまつわる地名である。矢津田は追田（さこだ）の意で、東北地方では谷地（ヤチ）関東地方では谷をヤツと呼んでいる。吉尾野は「台地の屋下にある野」の意で、ヨシは台地の屋ヨシミ（吉見）は台地の下から沸きだす泉である。
高尾野は吉尾野に対し、高い尾根の野、赤羽根は赤植（アカハニ）で赤い粘土、アイヌ語

郷土の博物誌

16

マムシ



一月にヘビの話は時期的にどうかと思われるが、ことは已年なので、敬意を表してマムシ君を取り上げてみよう。
高森町の生物で一番こわいものといえ、やはり人命にかかわることもあるこのマムシだ。しかしマムシは、イノシシの出没する奥地では見当らず、かえって人里近くに多いのは、イノシシにとってマムシがなによりのごちそうだからだ。イノシシはどんな遠くからでもマムシの匂いをかぎわけるという。
そういえば、マムシには一種独特の匂いがあって、馴れた人

にはすぐわかるらしい。私はよくいっしょに山歩きする神原の元村幸敏さんから「そっちは行くな。マムシの匂いがする」とよく注意を受け、いくどと助かなくった。
ところで奥地の農家では、マムシに噛まれたときの下毒鎮痛用として、昔からイノシシの皮



古沢 君



佐伯 君



熊谷さん



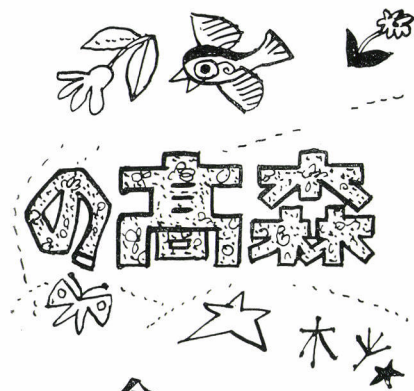
本田さん



今村 君



岩下高森町長



食品工場や観光施設 自然生かした発展策を

——みなさん、明けておめでとうございます。高森町はここ二十年の間に大きく変わりました。日ごろ皆さんが考えている町への要望も多いことと思います。そこで、まず町長に注文したいことからお聞かせください。
佐藤 ぼくが当面している受験に關したことです。町にもっとレベルの高い高校を作ってほしい。岩下町長 いまの高森高校は二十二、三年前に阿蘇高校の分校だったのを独立させて建設したものです。それ以来、地域住民の教育振興に大きな役割を果たしています。が、町内の一部の人は、子供を熊本市の名門校に入学させているようです。高森高校は市内の学校に比べると歴史、伝統はありますが、優秀な生徒が集まると、レ

ベルも上ります。もっと、みんなが地元を育ててほしいと思います。
古沢 将来、ぼくたちの地区に広いグラウンドや競技場をつくらねないでしょうか。
岩下町長 これは高森、色見のいずれかに、ソフトボール四面とテニスができる町民グラウンドを建設する予定です。みなさんのところも財政の許す限り整備したい考えです。
宇藤 南郷谷の四か町村を一つにまとめて、高森市にしてはどうでしょうか。また、今の商店街を地下に移し、余った土地をグラウンドにしたらいいと思います。
岩下町長 合併促進のとき、「南郷谷は一つに」と呼びかけ合ったのですが、各地域の思惑があっ

昭和五十二年が明けました。ことは旧野尻村が編入合併してから二十周年を迎えます。ちょうど五分の一世紀。さまざまな曲折を経ながらも自治体、あるいは住民の間に新しい自治への関心が高まってきました。町でも終始一貫、対話と町民参加を基本姿勢にしながら「住みよい豊かな郷土づくり」をめざし、積極的な町政の展開をはかっています。昨年は待望の南阿蘇国民休暇村もオープンするなど、いよいよ観光面の飛躍が期待される時でもあります。そこで新年にあたり、町内の小中学生七人にお集りねがい「こうしたい私たちの高森」と題して大いに語り合っていました。

て、なかなか実現しませんでした。でも希望を捨ててはいけな

——ところで高森町をよくするためにはどうしたらよいでしょうか。
熊谷 高森は静かな町だから診療所など福祉関係の施設ができるといいでしょうね。
今村 診療所もいいですが、町を発展させるためには、やはり工場を建て、地元の産業を活性化することがいいです。
佐藤 そうですね。町の財政は苦しいし、町にぜひとも工場を誘致すべきです。ただし、公害問題がありますから食品工場に限りませんが、。
古沢 町の所得をふやすためには大きな企業が必要。しかし企業があれば公害が起る。なかなか思うようにはいかないものですね。その点、食品工場はいい思いつきだと思えます。
本田 町内の農家では野菜づくりが盛んになった半面、出荷時の苦労は大変なものです。ぜひ、町に大きな加工食品工場を作っ



なごやかに語り合う出席者たち

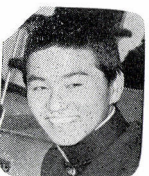
新春座談会

こうしたい

私を



宇藤 君



佐藤 君

✓、野菜の消費を促進してほしいと思います。

——工場誘致の話になりましたが、ほかの皆さんの意見は。

佐伯 工場誘致もいいですが、高森町は美しい自然に恵まれていますので、観光面にもっと力を入れるべきです。例えば、動物の放し飼いなどやって、観光客を集めてはどうでしょう。

岩下町長 みなさんいろいろな案を持っていきますね。私が町長になった当時は、清栄山のふもとに結核療養所をつくりたいと思っていましたよ。ところが交通面、医師の問題など立地条件が整いませんでした。いまは道路も「ごくどう」から国道に変わり(笑い)、ストッキング工場や縫製工場が建ち、色見には身障者施設さえできています。

ところで大きな企業を誘致することは望ましいことですが、賃金面で地元商店街に与える影響も大きく、難しい問題が生じます。そのうえ、企業は自分さえうまくいけばいいという考えですから誘致には慎重を要します。

宇藤 救急施設を整備すべきだと思いますが…。

岩下町長 交通事故や急患に備



司会・今村町教育長

農業はやりたい

本田 私は農業をやりたいです。ことは植え付けから収穫ま

熊谷 静かなところは大好きですが、多分別なところへ就職します。

高森で働くにも、勤め先が少なすぎます。

佐藤 やりたくありません。二男だし、ほかにやりたい夢があるからです。

——私たちの町がよくなるためには農業が栄えなくてはなりません。最近農家を継ぐ人は減っている現状です。みなさんは農業をやりますか。

佐藤 ぼくはそうは思いません。山の中で生活しているから、そう感じるであって、都会の人は、やはり田舎の素朴さを喜んでくれると思います。

吉沢 なんともいえませんが、

えるため、いま南郷谷の四カ町村で話し合っているところです。

——動物の放し飼いなどユニークな意見もありましたが、町の観光について、どう考えますか。

本田 休暇村ができたといっても、周囲は畑と原野。したがって観光客は食べて寝るのが「オチ」です。阿蘇の景色を見るだけだった写真でもできることだし、娯楽施設はどうしてもいると思います。

とにかく休暇村を中心とした観光ルートの確立が大事なことでないでしょうか。

岩下町長 そのとおりです。観光は点ではなく、線で結ばれてはなりません。そのために、町では道路の整備に力を入れているのです。そして例えば、町内にレジャーセンターやゴルフ場を誘致したり、さらには、キジやイノシシの猟場をつくるなどして、休暇村を拠点に点と線をつなげなければなりません。

熊谷 町には休暇村以外に、川魚料理や田楽、民宿などいいところがたくさんあります。マスコミを利用してもっとうまくPRすべきではないでしょうか。

で兄といつしよに手伝ったのですが、自分の力で作物を作り出すことに喜びを感じました。だから進路決定についても、親に農業をさせてほしいとたのんでいるところです。

宇藤 ぼくも農業をやりたいと思います。大きくなったら畜産の勉強をします。

——農業の継ぎ手をふやすにはどうしたらいいでしょうか。

本田 私のクラスには農業が忙しいといつて授業を休む生徒がいます。親が仕事を押しつけるので、農業は「きつつか」と意識づけしてしまうのです。そこで親は学

(前頁からつづく)

習、遊び、仕事の時間をはっきり区別することが大切といえます。

古沢「若い人が土地に残って農業をやるには、楽しみの場が必要です。野尻では軽音楽バンドなどできたし、いいことだと思います。」

——「豊かで住みよい街づくり」を実現するためには、なんと

いっても人づくりがしつかりしていなければなりません。そこで町の教育に話題を変えてみましょう

本田 先生たちは業者テストの編差値で生徒の志望校を決めていますが、それは本当の人間はつくられないと思います。編差値がよいから競争率の高い学校をすすめるのではなく、生徒が希望する

ものが何であるか理解してほしい

佐藤 業者テストに不満のようですが、自分の学力が県全体ではどのあたりかを知る目安として役立っていると思います。もし業者テストが廃止されるとしたら、同様なテストを県が行うべきでしょう。

佐藤 ところで、学校が多いと経費がかさむので、町内の学校を一カ所にまとめてはどうか。

今村 あるところでは、分校でさえ鉄筋コンクリート建ての校舎になっています。高森小も改築して設備を充実してほしい。

佐伯 ぼくの学校も窓が開かないところがあります。

不幸な人を救おう

横町の白石さん 10年続く古切手集め

「恵まれない人たちのために役立ててください」と、十年間も日本ユネスコ善意銀行あて、古切手を送り続けている奇特なおばあちゃんがおられます。

この人は高森横町の白石すえさん(八三)。四十一年の七月に朝日新聞の読者欄で、熊本市の読者が「ネパールの不幸な人を救おう」と、古切手集めを呼びかけているのを知り、自宅の郵便物を集めて約百枚の切手を送ったのが始まり



古切手を整理する白石さん

当時、ネパール人は全国の十二割が結核に侵され、不衛生と貧困にあえいでいる状態。幼ない子供が薄命で、この国の平均寿命は三十七歳でした。古切手は海外の国際市場に出され、三百枚で一人分のBCG薬剤に生まれ変わります

このささやかな愛の運動を続ける白石さんには同調者もふえ、学校の先生、役場、農協の職員などからも定期的に切手が寄せられるようになりました。ところが、間もなく取り扱い先の同新聞社がこの慈善事業

のを中止。このため、白石さんは、東京の日本ユネスコ善意銀行へ送ることにしました。みなさんから届けられた切手は一か月に千二百枚から千五百枚。通算すると二十万九千九百枚にも達しました。同善意銀行では四年前に沖縄身障児救援切手募集運動で白石さんに感謝状を贈り、ことしも親のない子への募金運動を機会に二度目の感謝状を贈りました。

白石さんは「余生を少しでも人のために役立てたいと、みなさんの善行を伝えただけ。この仕事だけは今後も命のある限り続けます」と話されていました。

舎になるといいですね。

岩下町長 まず五十二年度で河原小を改築し、逐次皆さんの学校も整備したいと思っています。

——学校を統合することについてみなさんの考えはどうですか。

本田 合理的な方法とは思いますが、先輩たちによって築かれた歴史や校風が失われ、さびしい気がします。それに寄宿舎やスクールバスを利用するので、学校に通う楽しさ、もなくなります。

熊谷 私たちの学校は、生徒がわずかなので友達が少なく、ほかの学校と比べると競争心も欠けると感じます。もし学校統合が実現したら、通学の楽しさはなくなりますが、それに変わる利点が多い

のではないでしょう。古沢 野尻中も生徒数が百人を割り、なにか大きな問題となってきました。小国中などを見ると、寄宿舎ができて、そこでは違った友だちづくりが行われているようです。やはり、ぼくたちのためには統合した方が将来のためにいいようです。

——町づくりを中心に活発な意見が続いていますが、紙面の都合上、この辺で本日の座談会を終わらせていただきます。皆さんの意見や構想をできるだけ町政に生かし、よりよい町づくりをめざしたいと思っています。

本日はどうもありがとうございました。

甲斐さんに 愛の献血を

2月16日に心臓手術

心臓手術をする甲斐りん子さんをみんなの献血で助けましょう。

尾下、下山の甲斐りん子さん(二)は生まれつき心臓が悪く(先天性心室隔欠損症)、二月十六日には久留米大病院で手術を受けます。手術には多量の血液が必要であり、町では、りん子さんを励ますようと、愛の献血運動を展開することにしました。採血は二月一、二日の予定で、高森地区は役場前、野尻地区は野尻小学校前で行います。りん子さんの血液型はO型ですが、ほかの血液の献血も可能(血液銀行がO型と交換)で、より多くの献血をお願いします。

りん子さんと中学校で同級だった河地の伊東和代さんは「学生時代は体育に参加できず、ただ級友たちがスポーツを楽しむ姿をながめるばかりでした。早く手術でよくなり、幸せをつかんでほしい」と、心配気に語っていました。

この町ぐるみの献血運動に父親の定国さん(六〇)は「みなさんから心配いただいて本当に感謝しています。元気になって皆さんのご恩に報いたいと思っています」と、話していました。